

医療分野の「雇用の質」向上のための 勤務環境改善マネジメントシステム 研修会

～ 勤務環境改善マネジメントシステムの概要とセルフチェックのすすめ～

平成26年11月1日
熊本労働局

「雇用の質」向上の取組とは

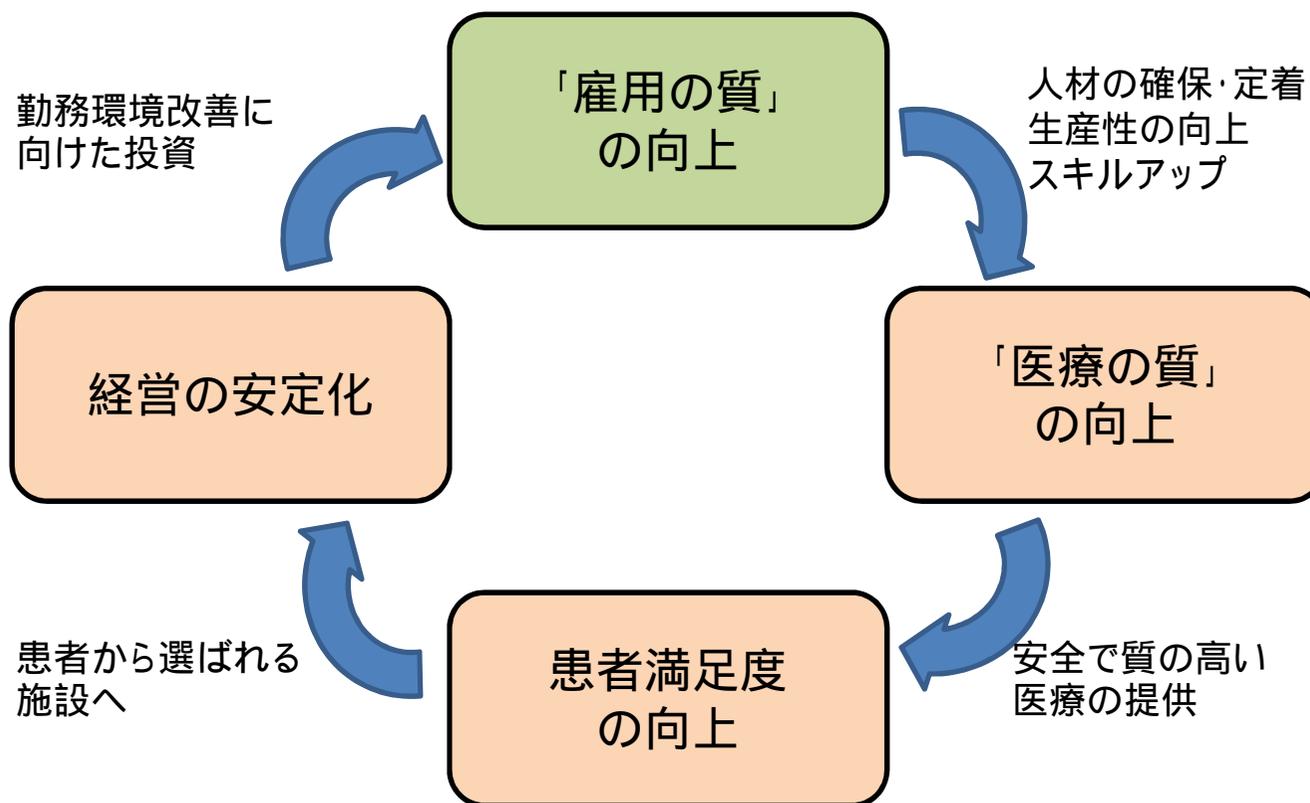
人口減少、若い世代の職業意識の変化、医療ニーズの多様化、医師等の偏在など、様々な背景から、医療スタッフの確保が困難な状況です。

今後の継続した質の高い医療サービスを確保するために、**医療現場の勤務環境の改善**を通じて、医療スタッフを惹きつけられる職場を目指す取組です。

医療スタッフの安全と健康が医療サービスの向上につながる、との認識のもと、自らの**勤務環境の現状を自主的に確認**し、その現状に合わせて取り組むべき**改善事項を決定し、実施**していきます。

平成26年3月に厚生労働省より、医療スタッフの勤務環境の改善に向けた手法についての調査・研究結果が発表され、この手法である「**勤務環境改善マネジメントシステム**」の普及が主唱されました。

勤務環境改善マネジメントシステムを 導入しましょう！(P3)



本日の研修内容(テキストP5)

「雇用の質」向上の取組とは
どのような取組か知りたい

どのような取組か、冒頭
で説明(P6)

できるところから
取組を始めてみたい

勤務環境改善アクショ
ン・プランの作成(P8)

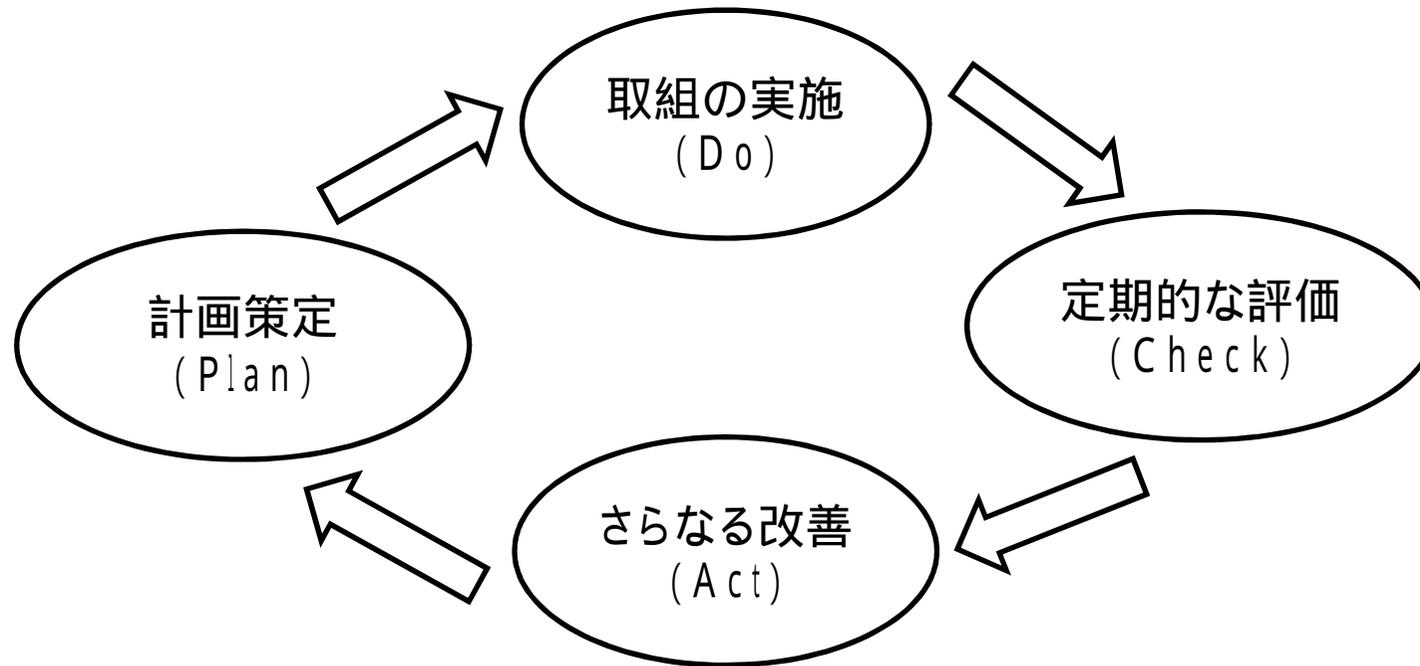
現状分析から課題を明確にし、
本格的に取組を進めたい

勤務環境改善マネジメン
トシステム導入ステップ
(P18)

「雇用の質」向上の取組の4つの領域 その検討の視点

- 働き方・休み方改善
労働時間管理
負担軽減(職種ごと) (P45)
- 職員の健康支援
職員の生活習慣病対策
メンタルヘルス対策
(P54)
- 働きやすさ確保のための環境整備
(ソフト面・ハード面)
仕事と子育ての両立支援
職員の安全の確保
職員満足度の向上(P55)
- 働きがいの向上
専門職としてのキャリアアップ支援
休業後のキャリア形成
(P56)

勤務環境改善マネジメントシステムのPDCAとは？



- 自主的に取り組む任意の仕組み
- 上記のサイクルを**職場全体**、**職種単位**、**病棟単位**等で
- 自分たちの勤務環境の現状を把握し、抽出した課題に対する改善を行うことにより、創意工夫による経営の安定や、職場がより魅力的になることにより人材確保にも貢献する効果

勤務環境改善マネジメントシステムの導入にあたって (P 4)

- 労務管理面はもとより、職員確保、労働安全衛生、組織マネジメント面のほか、診療報酬や補助制度等の公的支援制度の活用を含め、多岐にわたる関連分野と総合的に検討を加えると効果的
- 今後、勤務環境改善支援センター(支援センター)にて、導入にあたっての相談支援を行います。(熊本県では今後設立予定)
- 日本医師会の「医師の勤務環境改善ワークショップ」、日本看護協会の「看護職のWLB推進ワークショップ」を活用することも可

本日の研修内容(テキストP5)

「雇用の質」向上の取組とは
どのような取組か知りたい

どのような取組か、冒頭
で説明(P6)

できるところから
取組を始めてみたい

勤務環境改善アクショ
ン・プランの作成(P8)

現状分析から課題を明確にし、
本格的に取組を進めたい

勤務環境改善マネジメン
トシステム導入ステップ
(P18)

勤務環境改善マネジメントシステムの
導入のためには



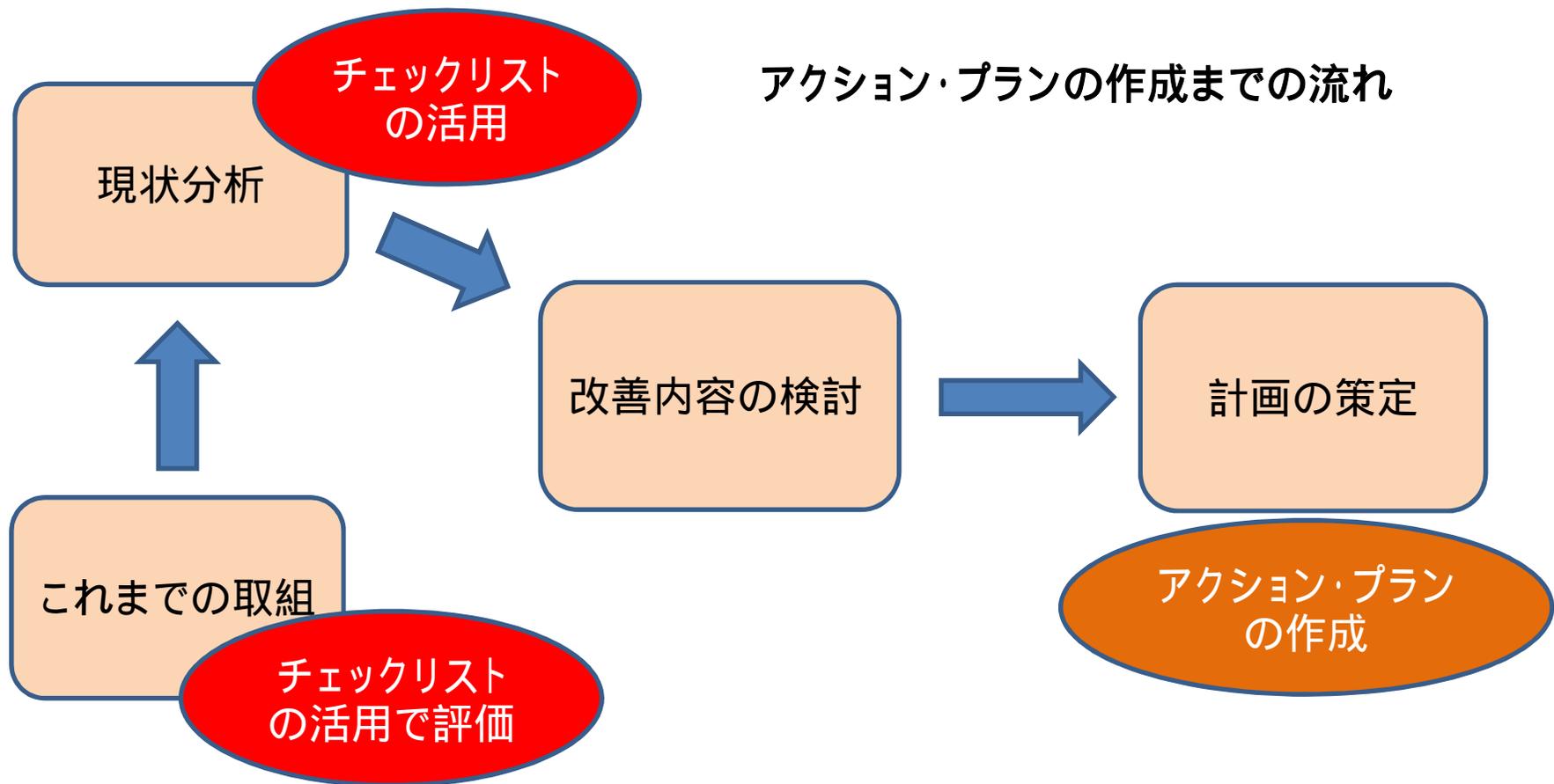
管理者の理解のもと、全体の取組を行うことが
効果的(テキストP18)



それでは、勤務環境改善マネジメントシステムを
導入するまでの間、そのほかに可能な範囲の取
組はないのでしょうか？

セルフチェックリストを利用した勤務環境改善アクション・プランの作成を推奨しています(テキストP8~)

勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)



勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)

- どの対策を行えば、スタッフがより健康で安全に、無駄なストレスなく、安心して仕事を続けられるかどうか、という視点で
- 漏れのないチェックを行う目的ではない
- 改善点を話し合う目的で行う

勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)

- 対策をすでに行っている、対策が必要ない

→「いいえ」

- 今後必要、その対策を取り上げたい

→「はい」

8つの項目に対して、ひとつひとつチェックを入れてみましょう。(演習では受講者個人で行いますが、実際には合議しながら行って構いません)

勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)

- 「はい」にチェックした項目は、いくつありましたか？(ここで演習は終了します)
- 「はい」にチェックした項目から、特に優先して取り上げる事項を3～5項目へ絞り込む
- そのうち、優先して取り上げる項目の「優先」欄にチェックを入れる
- 優先的に取り組みたい項目に関して、具体的な取組計画を示したアクション・プラン例を参考に計画策定する

勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)

一例として、

「職員自身が健康的な生活習慣について見直す機会を提供する」(チェックリスト第1項目)

「職員のメンタルヘルスを支援する体制を整える」(チェックリスト第3項目)

が、**優先**と決まった場合、どのようなアクション・プランが考えられるでしょうか？

勤務環境セルフチェックリスト(簡易版)

- セルフチェックリストは、4つの領域に対応して4種類が示されています。
- 今日は「職員の健康支援」を例に演習を行いました。
- モデル計画を参考にして、自分の職場に応じたアクション・プランを作成

最後に

次の時間は、「勤務環境改善マネジメントシステムの導入ステップについて」の説明です。

本日の資料は、後日、

熊本労働局のホームページ

【医療分野の「雇用の質」向上のための取組
専用ページ】

に公開します。

ご清聴ありがとうございました。